



山梨大学 新技術情報クラブ



～ インフォメーション ～



【第 27-18 号】

本メールマガジンは山梨大学 新技術情報クラブ会員の皆様へ
最新情報をお知らせする目的で配信しております。

メール配信を希望されない方は、「配信停止」とお書きの上、ご返信ください。

<p>産学官連携コーディネータ 活動レポート (コラム)</p>
【No.23】

最近朝晩が寒く感じるのですが、もう年末ですから当然ですね。今年はインフルエンザの前に感染性胃腸炎が流行っているようですが、皆様お元気で過ごしてでしょうか。

さて、政府が第5期科学技術基本計画を策定し来年1月には閣議決定するという報道が有りました。個人的には直接関係ないかもしれませんが、来年から5年間で26億円を投じる科学技術政策の指針ですから、企業さんや大学には補助金などを通じて大いに関係が有ります。

今年までの第4次計画では、大震災からの復興、グリーンイノベーション、ライフイノベーションの推進といった緊急な課題が重要目標に挙げられました。第5次では、狩猟、農耕、工業、情報に続く第5の社会を Society5.0 と名付け、年齢・性別・地域・言語の違いを意識せずに様々なサービスを受けられる社会を目指す、と近未来への展望を高らかに謳っています。具体的には今後強化する技術として、ロボット、人工知能、ビッグデータ解析、サイバーセキュリティを挙げています。また目標指標として「イノベーション創出に向けた人材、知、資金の好循環システムの構築」という記載があり、大学など国立研究機関と民間企業との共同研究を5割増しにすることも盛り込まれました。

同じ日のTVニュースで、センシングや遠隔操作などICTを駆使した農業(トマト栽培)の例が報道されました。既に高付加価値品として出荷しており、連日見学者が来るとのこと。このようにグリーン、ライフに続くビジネスドメインとして、最新のICT(情報通信技術)を導入したアグリイノベーションへの期待が高まっています。地方創生でもあり、前述の政府の科学技術政策とも整合しますから、公的資金などの国や自治体からの支援も受けられるはず。山梨県の場合、ICTと農業だけでなく、観光や医療を組み合わせた新ビジネスも考えられると思います。県内唯一の国立大学である山梨大学の社会連携機構としても、新しいこと面白そうなことを考え挑戦する皆さんの力になれるように、色々な形でのコラボを今まで以上に積極的に行っていきます。今から準備(開発)を始めて、追い風が吹いて来たらチャンスを逃がさずにゲットしましょう。

本年は大変お世話になりました。 来年もどうぞよろしく願いいたします。
産学連携コーディネータ 服部 康弘



■ 【お知らせ】

01 公募情報 【AMED】公募・受付開始について（公募期間 12/16～1/13）

02 イベント情報

- (1) 1/22 大学知財群活用プラットフォーム（PUIP）新技術説明会
 - (2) 2/9 METI 水素・燃料電池分野の個別相談会（エントリー受付中～1/18）
 - (3) 1/27 農商工連携マッチングフェア（甲府富士屋ホテル）
-



01 公募情報

AMED・平成28年度「医療機器開発推進研究事業」に係る公募（1次公募）
開始のご案内

国立研究開発法人日本医療研究開発機構（以下、AMED）は、以下要領で平成28年度「医療機器開発推進研究事業」に係る公募（1次公募）を行います。関係各位の積極的な検討を期待します。詳細はリンク先で確認下さい。

※リンク先 <http://www.amed.go.jp/koubo/020120151207.html>

●公募概要

AMEDでは、平成28年度「医療機器開発推進研究事業」に係る研究開発課題を以下の要領で公募します。詳細はリンク先の公募要領をご参照ください。

- (1) 先進医療B（以下を参照下さい）として実施が認められた医療機器に関する臨床研究
- (2) 疾患登録システム（患者レジストリ）を活用した医療機器開発・改良に関する臨床研究・医師主導治験
- (3) 医療機器の実用化を目指す医師主導治験
- (4) 医療機器の薬機法承認を目指す非臨床研究・臨床研究
- (5) ベンチャー企業発の医療機器の実用化に向けた臨床研究・医師主導治験

●事業内容

本事業は、革新的医療機器の創出に向けた非臨床研究や臨床研究や医師主導治験等を行い、企業への導出につながる成果を出すことを目標としています。これにより、より効率性が高く安全な医療技術の実現を図ります。

●対象者

本事業の応募資格者は、一定の要件を満たす国内の研究機関等に所属し、応募に係る研究開発課題について、研究開発実施計画の策定や成果の取りまとめなどの責任を担う能力を有する研究者（「研究開発代表者」）とします。

※詳細については、公募要領「3. 1. 本事業の応募資格者」をご覧ください。

●公募期間

平成 27 年 12 月 16 日（水）～平成 28 年 1 月 13 日（水）正午

●お問い合わせ先

〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-7-1 読売新聞ビル 23 階

国立研究開発法人日本医療研究開発機構 産学連携部医療機器研究課
医療機器開発推進研究事業担当

E-mail : med-device@amed.go.jp



02 イベント情報（1）

1/22 大学知財群活用プラットフォーム（PUiP） 新技術説明会
<http://shingi.jst.go.jp/kobetsu/puip/2015/>

【日時】 1 月 22 日（金） 10:25～15:55
【場所】 JST 東京本部別館 1F ホール（東京・市ヶ谷）
【地図】 <http://shingi.jst.go.jp/access.html>

複数大学の特許や研究ノウハウをポートフォリオ化したものを「知財群」と呼んでいます。本説明会は、社会ニーズや市場動向から具体的な製品をイメージし、その製品に関連する特許を集めた知財群についての発表を行います。

まず産学連携コーディネーターが製品イメージとその知財群を紹介し、続いて研究者が知財群のキーとなる特許技術について説明します。

発表内容詳細 URL :

http://shingi.jst.go.jp/kobetsu/puip/2015/tech_property.html

◆10:40～10:55

【知財群テーマ 1】「CO2 レーザー延伸ナノファイバーの生体材料への応用」
山梨大学 社会連携・研究支援機構
社会連携・知財管理センター 産学連携コーディネーター 服部康弘

山梨大学鈴木章泰教授の「CO2 レーザー延伸ナノファイバー」技術を核として知財群を形成し、3 大学（東京理科大、東京電機大、山梨大学）の共同研究として、「再生医療基材」など医療応用分野への展開を検討している。

◆11:00～11:25

【1-1】「炭酸ガスレーザー超音速延伸法で作製したナノファイバー」
山梨大学 大学院総合研究部 工学域物質科学系 教授 鈴木章泰

炭酸ガスレーザー超音速延伸法は、当研究室で独自に開発されたトップダウン

型のナノファイバー作製法であり、亜音速から超音速領域の空気の流れの中で、繊維に炭酸ガスレーザーを照射して部分融解させ、熔融した繊維を数十万倍まで超延伸して、ナノファイバーを作製する方法である。

◆11:30～11:55

【1-2】「生体材料への応用を目指した表面処理技術の開発」

東京電機大学 理工学部

理工学科 電子・機械工学系 准教授 大越康晴

従来のアルミナ被膜処理では難しいとされてきた低融点材料や高アスペクト比の材料に対し、本技術では、材料の表面から微細な深さ方向までアルミナ被膜を実現し、良好な生体適合性が見込まれる表面処理技術を開発した。

◆13:10～13:25

【知財群テーマ2】「発電+ビニールハウス＝自然エネルギー自立型農業」

東京理科大学 研究戦略・産学連携センター

研究・産学連携支援部門 リサーチアドミニストレーター 是成幸子

太陽光を植物の生育と発電でシェアするソーラーシェアリングの実現を目指し、農業向け透過型有機薄膜太陽電池フィルムの研究開発を進めている。PUIPの参加機関等の知的財産を結集し、現場への普及につながる研究の促進を目指す。

◆13:30～13:55

【2-1】「有機薄膜太陽電池を使った発電するビニールハウス」

諏訪東京理科大学 工学部 電気電子工学科 准教授 渡邊康之

ソーラーシェアリングの実現を目指し、透過型有機薄膜太陽電池フィルムのビニールハウスで実証実験を行い植物への影響を調べている。また、太陽電池フィルムの製作を行っており、埼玉大学福田武司先生との連携の下、課題解決を図っている。

◆14:00～14:25

【2-2】「高効率な溶液のイオン化技術を利用した静電塗布成膜手法」

埼玉大学 大学院理工学研究科 物理機能系専攻 助教 福田武司

静電塗布法は、凹凸への直接塗布や高粘度・低希釈濃度の溶液の適用など従来の塗布技術にはない特徴がある。本技術では溶液の効率的なイオン化技術や周囲の環境による噴霧液滴の制御により実用的な塗布技術を紹介する。

◆14:40～14:55

【知財群テーマ3】「農業用二輪ビークル」

株式会社信州 TLO 技術移転グループ 勝野進一

山梨大学野田善之准教授の「二輪ビークル技術」をベースに、農業のいろいろな場面で活用できる電動小型車両を目標として知財群を形成した。農地での収穫

物や作業者の移動に用いることで、狭く傾斜のあるような農地での高齢者あるいは女性の農作業のサポートを目指す。

◆15:00～15:25

【3-1】「荷台水平運搬を実現する低重心型平行二輪ビークル」

山梨大学 大学院総合研究部 工学域機械工学系 准教授 野田善之

農林業における重筋作業を軽減し、安全に重量物を運搬することを目的に、低重心型平行二輪ビークル機構、荷台ロール方向姿勢制御、パワーアシスト操作をシステム統合した運搬ビークルを開発した。

◆15:30～15:55

【3-2】「空気レス可変剛性タイヤ」

信州大学 繊維学部

機械・ロボット学系機能機械学課程 准教授 飯塚浩二郎

空気レスであるため、不整地・瓦礫等の作業に適しており、かつ、軟弱地盤に有効な柔軟モードが実現できるために、いろいろな地盤環境シーンで利用できる。



02 イベント情報（2）

2/9 【ご案内】METI 水素・燃料電池分野の個別相談会

【日時】1月22日（金） 10:25～15:55

【場所】JST 東京本部別館 1F ホール（東京・市ヶ谷）

【地図】<http://shingi.jst.go.jp/access.html>

経済産業省資源エネルギー庁では、「エネファーム周辺機器（補機類）」、「水素ステーション機器」について、家庭用燃料電池（エネファーム）メーカー、水素ステーションエンジニアリングメーカー等と新規参入に意欲のある企業とのビジネスマッチングを図るための、個別相談会を開催いたします。

記

- 催事名：家庭用燃料電池の補機類部品ならびに水素ステーション関連部品に係るビジネスマッチングのための個別相談会
- 日程：平成28年2月9日（火）10:00～17:30（左記の時間内で個別調整）
- 会場：連合会館（東京都千代田区神田駿河台3-2-11）
- 主催：経済産業省資源エネルギー庁
- 企画運営：（一財）大阪科学技術センター

- 参加ニーズ企業：
（1）エネファーム他、定置用燃料電池システム

アイシン精機(株)、東芝燃料電池システム(株)、パナソニック(株)、
住友精密工業(株)

(2) 水素ステーション

岩谷産業(株)、(株)神戸製鋼所、大陽日酸(株)、日本エア・リキード(株)
(事前審査があり、必ず面談が叶うとは限りませんので
ご承知おきください)

■ニーズ例：

1. エネファーム

- ・ポンプ(改質水/冷却水/排熱回収など) 、
- ・ブロワ(燃料昇圧、バーナ空気、カソード空気など)
- ・遮断弁、・センサー (水位/温度/圧力/流量/可燃性ガスなど)
- ・熱交換器、・モジュール化/マルチ配管技術
- ・省電力/低騒音化技術、・新断熱材料/制振材料等の材料技術 他

2. 水素ステーション

- ・水素製造設備、・圧縮機、・弁/継手類、・ディスプレイ/ブレイクアラ関係
- ・高度溶接技術、・高肉厚配管曲げ技術、・精密加工/精密表面処理技術
- ・高圧水素シール技術、・超高压/低温水素対応材料、
- ・断熱材/制振材料等の新技術
- ・水素ステーション建設土木工事技術 他

■申込方法：相談会ホームページ、参加案内をご確認の上、エントリーシートを
平成28年1月8日(金)までに、PUiP事務局へお送りください。

■相談会ホームページ：

<https://ostec.seminar-event.info/event/detail?id=6>



02 イベント情報 (3)

◇◆1/27 農商工連携マッチングフェア ◆◇
主催：山梨県商工会連合会・県下商工会

山梨県商工会連合会・県下商工会は、県内の中小企業支援機関及びJAと連携し、中小企業者や農林漁業者等が互いの経営資源や地域資源を活用して開発した商品等の商談や販路開拓、取り組みの紹介を中心とした「農商工連携マッチングフェア」を開催します。

○本フェアの目的と特徴

1. 山梨県の中小企業者や農林漁業者等が開発した商品等を一堂に会し、
展示・紹介し、商談等に結びつける。
2. ビジネスパートナーとのマッチングを行い、新たな商品の開発や取り組みを
促進する。
3. 会場内にバイヤー及びバイヤー経験者等による「個別商談会」コーナーを
設置し、自社商品を直接バイヤー等に売り込む事ができる機会を設ける。
(1事業所・20分間の商談 要申込)

4. 農商工連携・地域資源活用・新連携・6次産業化など国等の施策の紹介や相談に対応するコーナーを設置し、農商工等連携・6次産業化などの活動を促進する。

○日時：平成28年1月27日（水）13：30～

○場所：甲府富士屋ホテル

〒400-0073 山梨県甲府市湯村3-2-30 TEL 055-253-8111

○当日のスケジュール

13：30～14：00 開会セレモニー

14：00～17：00 マッチングフェア

○山梨商工会連合会のHP 「農商工連携マッチングフェア」サイト

URL:http://www.shokokai-yamanashi.or.jp/info/H27_matching.html

1) このメールの内容は、提供された会員様限りでご使用下さい。

2) メールの内容については国立大学法人山梨大学が著作権を有します。
